

開き戸
金具

1

引戸
金具

2

上吊式
引戸金具

3

AFD

HR

SD

連動引戸

オプション

引戸錠

4

移動
間仕切
金具

5

室内用
アルミ建具

6

折戸
金具

7

取手・
引手

8

スライド
丁番

9

スライド
ワイヤー
バスケット

10

収納・
吊金具

11

その他の
家具金物

12

物干金具・
諸金具

13

設計
施工
ガイド

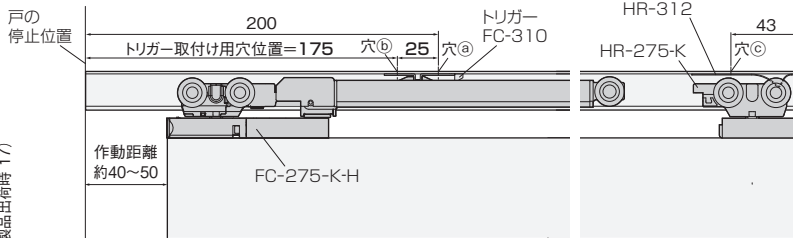
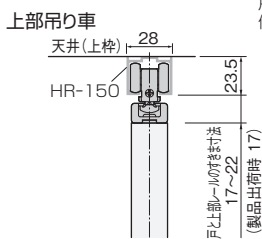
会社案内

使用条件

本文201ページをご参照ください。

設計ガイド

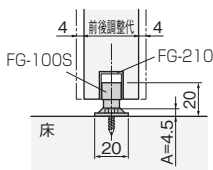
■金具の納まり参考図



■戸の加工寸法参考図



下部ガイド



●戸の高さ寸法の求め方

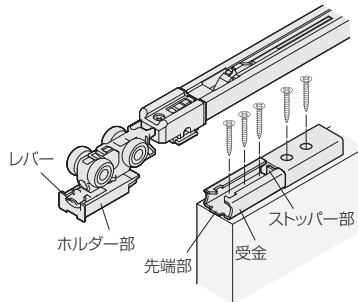
戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) - 3mm - A
 ※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
 ※上部レールの高さは、HR-150 (直付け用) = 23.5mm、HR-130 (掘込み用) = 1.5mm (つばの厚さ) です。
 ※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

施工ガイド

■金具の取付け方法

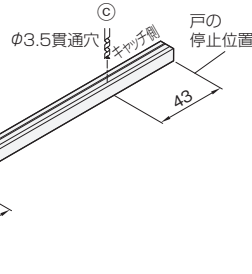
1. 上部吊り車の取付け

- ①ホルダー部のレバーを押して、ホルダー部と受金を分離します。
- ②右図のように引戸の上面木口両端部に受金の先端部をそろえて、ねじで取付けます。受金の向きは、ストッパー部が戸の奥側になるようにします。



2. レールの穴あけ

- ①レール芯の所定位置⑥⑦にφ5.5の貫通穴をあけます(2ヶ所)。
- ②レール芯の所定位置⑧にφ3.5の貫通穴をあけます(1ヶ所)。



ご注意

レール内に残った切り粉は、
取除いてください。

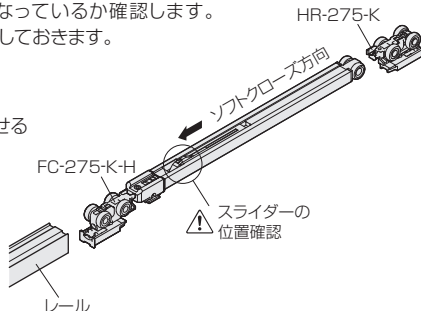
3. レールの取付け

- ①スライダーが図の位置になっているか確認します。
なっていない場合は、押して戻しておきます。

ご注意

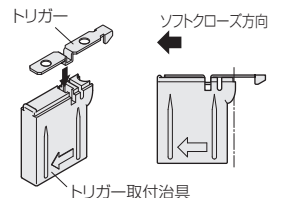
ソフトクローズを正しく作動させる
ために、必ず確認してください。

- ②レール取付けの前に、図の
方向で上部吊り車をレール
内に挿入します。
- ③上枠にレールを取付けて
ください。



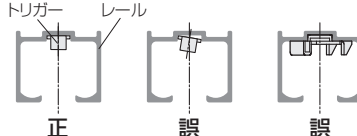
4. トリガーの取付け

- ①トリガーをトリガー取付治具にセットします。
- ②「2.レールの穴あけ」であけた穴⑥⑦に右
記治具を図に示す方向でレール内部に押
し込み、添付ねじでトリガーを固定します。



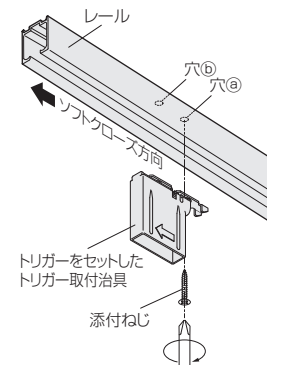
ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当
て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーが
レール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



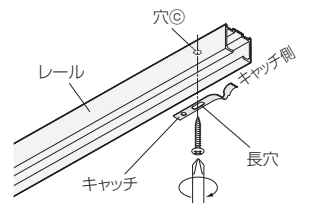
- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め
付けると、トリガーが変形します。

- ③完全に固定されたら、取付治具を下に引き
抜き、残りの穴⑧をねじ止めしてください。



5. キャッチの仮固定

- ①「2.レールの穴あけ」であけた穴⑧に、
キャッチの長穴を合わせて仮固定しま
す。もう一方の穴は、戸の位置調整が
完了するまで固定しないでください。

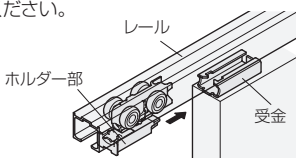


6. 下部ガイドの取付け

- ①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。
垂直に戸が吊込めるよう、取付け位置に注意してください。

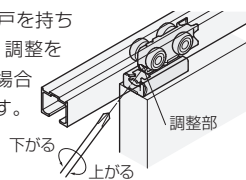
■戸の吊込み

- ①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ②受金にホルダー部をしっかりと差込みます。
※しっかりと差込み、抜けしないことを確認
ください。



■戸の位置調整

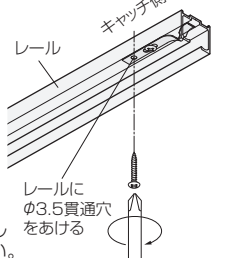
- ①戸を吊ったままで、吊車のねじを回すと
戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち
上げると、調整を
しやすい場合
があります。



※ソフトクローズの速度調整はできません。

■キャッチ固定ねじの本締め

- ①戸のキャッチ位置を決めて、
キャッチを固定します。レール
の固定穴位置にφ3.5の貫通
穴をあけ、ねじ止めしてくだ
さい。



ご注意

レール内に残った切り粉は、レール
クリーナーなどで取除いてください。